

退任のあいさつ

このたび、私は5月11日の任期をもって、久米島町長を退任いたします。平成26年5月12日に町長として就任以来、2期8年間にわたり重責を担わせていただきましたが、無事、退任を迎えることができ、ほっとしているところでございます。

この間、久米島高校の存続をするため取り組んでいる魅力化事業では「じんぶん館」を整備し、島外留学生の受入体制の充実を図りました。島外からの留学生受け入れは、地元の生徒も良い刺激を受け、国公立大学及び難関私立大学への合格者数の増や進学率が向上する等の相乗効果が出ています。

町民の念願であった図書館「ほんのもり」は、平時は「町民の学び」の拠点である図書館や地域交流施設として、災害時は避難施設として、町民の皆さんの期待に応えられる施設整備に努めるとともに、無料の町

営塾を開設し教育環境の充実を図ってまいりました。

火葬から告別式までの一連の葬儀を執り行うことが出来る火葬場と葬祭場を併設した「久米島斎場」は利便性が向上したことにより、大変喜ばれております。墓地の散在抑制のための納骨堂機能と空き家を有効活用するため、空き家から位牌等を預かる機能を備えた複合施設「納骨堂」が供用開始され、多くの申込みをいただいております、大変嬉しく思っております。

その他、産業の振興や福祉の充実についても取り組んでまいりましたが、まだ町の抱えている課題はたくさんあります。これからも、すべての町民が安心して健やかに暮らせるまちづくりに取り組んでほしいと思います。

私の任期中には、新型コロナウイルス感染症、台風被害、松くい虫被害、軽石被害など様々な困難がありました。町民の皆様、議員各位のご支援やご協力を得ながら、そして全職

員が一丸となって課題の解決に力を注いでまいりました。

長年にわたり、町長を務めさせていただけたことは誠に光栄であり、私を力強く支えていただきました町民の皆様から感謝申し上げます。

終わりに、町民の皆様の幸せな暮らしと、久米島町の限らない発展をご祈念申し上げ、退任のあいさつとさせていただきます。ありがとうございます。



大田 治雄